

各種団体や小学生も参加し実践的に防災訓練



平成24年の総合防災訓練

地域防災計画の想定地震と同じ震度6強の地震により、市内各所に大きな被害が出たという想定で、各種団体の参加を得て、毎年、総合防災訓練として現地災害対策本部設置訓練、情報収集伝達訓練などを行ってきました。東日本大震災後は、さらに、障がい者団体連絡会のご協力を得て、障がい者団体に避難訓練に参加していただいたり、自主防災組織が地元地区の避難所にも実際に避難するなど、より実践的な訓練などにも取り組んでいます。

震災を踏まえ 新たな訓練を実施

総合防災訓練は、先の東日本大震災を踏まえ、より実践的な訓練内容とするため、前年参加した団体や自治会から意見をお聞きし、地域での訓練にも生かせるような訓練や、より多くの市民が参加できる訓練を行うなどの見直しを行っています。

この結果、新たに23年度からは、要援護者支援を想定し、障がい者団体連絡会のご協力をいただき、障がい者団体の方々が会場協の総合福祉

